

令和 7 年 2 月 吉日  
(2025 年)  
吹田市立山田東中学校  
校長 山口 廣治

## 学校教育自己診断アンケート結果について

春寒の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

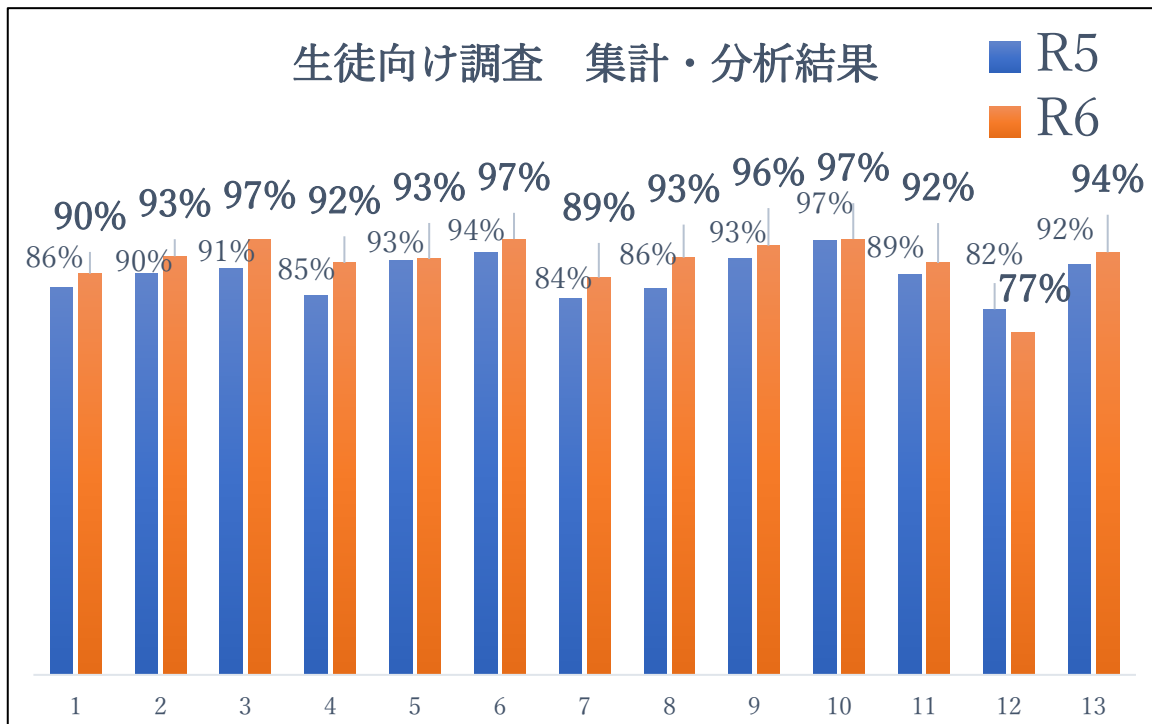
さて、12月に実施いたしました『学校教育自己診断アンケート』におきましては、ご多用の中、ご回答いただきありがとうございます。生徒用に実施したものととも、保護者様に実施したものの集計結果をお伝え致します。回答の結果を受け止め、教職員一同より安心・安全で楽しい学校づくりに取り組んでいきます。引き続き温かいご支援、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

### 【生徒用の集計結果】

(①～⑬の質問項目)

①学校に行くのが楽しい
②先生は、悩みや相談など生徒の話や意見を聞いてくれる
③先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる
④道徳・社会体験・進路学習などを通じて、将来の進路、生き方について考える機会がある。
⑤行事、委員会活動、部活動などに対して積極的に取り組んでいる。
⑥命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。
⑦国際理解、福祉等の学習を通して「人権」について学ぶ機会がある。
⑧自然災害等が起こった場合にどう行動したら良いか知っている。
⑨授業のめあてなど、評価の方法や規準について説明されている。
⑩ICT(コンピュータ、プロジェクトなど)を使った授業が行われている。
⑪授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。
⑫授業でわからないことについて、先生に質問しやすい雰囲気がある。
⑬楽しみにしている授業、もしくはわかりやすい授業がある。

(生徒用:昨年度との比較のグラフ)

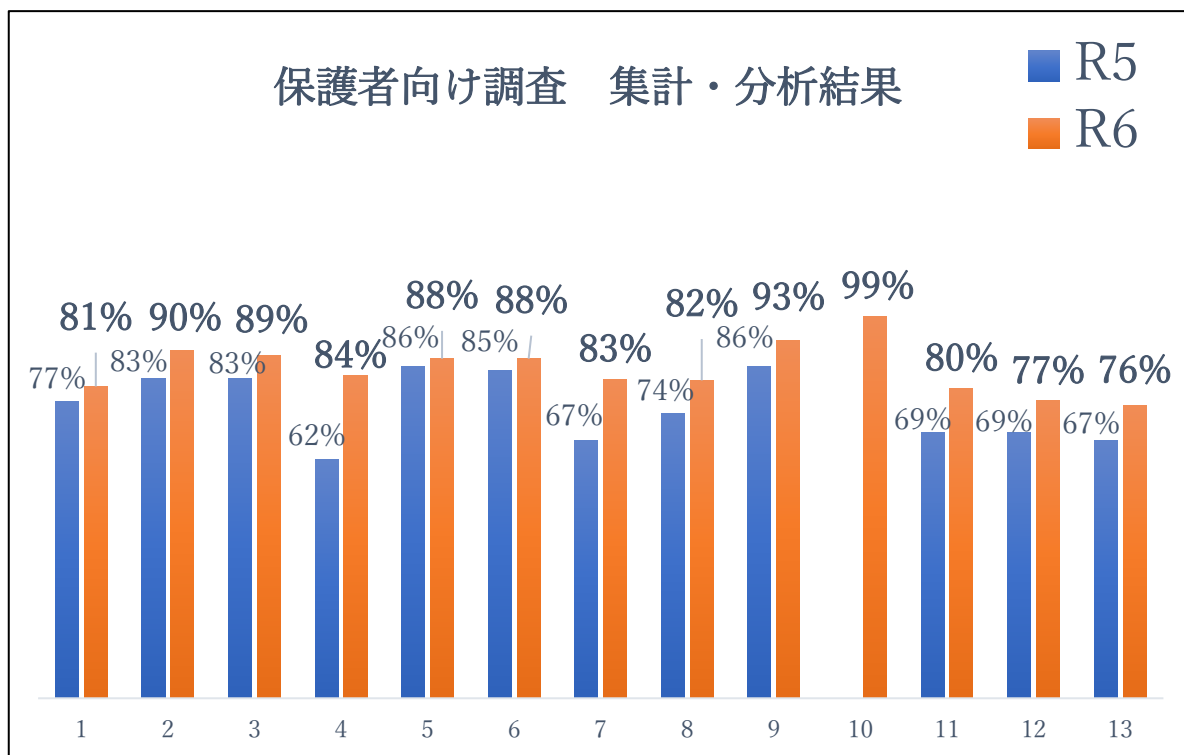


全体の90%以上の12項目において肯定的な回答の割合が増えました。その中においても③・⑥・⑨・⑩に関しては95%以上の生徒が肯定的な回答となっています。③の「先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる」については、朝に取り組んでいる「デイケン」システムにおいて、「相談がある」にチェックが入っている生徒に対して、その日のうちに声をかけ悩み事や困り事を確認し対応してきました。⑥については道德等の授業の教材を工夫し「相手を傷つける言動や行為」「命の重さ」等について指導してきました。「社会のルール」については各ご家庭でのご指導とともに、学校においても普段の生活を見直し、修学旅行や校外学習を通した学校外での活動の中で、よりたくましく成長してくれています。⑨の「授業のめあて…」・⑩「ICTを使った授業…」については授業において積極的に提示、使用してきました。目的をより明確にし、情報を視覚的にも分かりやすく提示することで、⑬「楽しみにしている授業、わかりやすい授業」となるよう取り組んでいきます。⑫「授業のわからないことについて、先生に質問しやすい雰囲気がある」においては昨年度を下回る結果となりました。定期テスト等の結果を踏まえて、職員側からのアプローチや、日々の授業において生徒の疑問等には早期に対応できるよう改善に努めていきます。

(①～⑬の質問項)

①子どもは学校に行くのが楽しいと言っている。
②学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
③学校は子どもの間違った行動を適切に指導している。
④学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている。
⑤学校は行事、委員会活動、部活動などに対して積極的に取り組んでいる。
⑥学校は生命を大切に作る心や、社会ルールを守る態度など、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。
⑦学校では国際理解・福祉などの「人権」について学ぶ機会がある。
⑧学校は自然災害などが起こった場合にどう行動したら良いか適切に知らせている。
⑨学校は教育目標や教育活動について、学校便り・学年便り・ホームページ・ブログ等を通じて、わかりやすく伝えている。
⑩学校は教育活動を知らせる機会（オープンスクールや合唱コンクール・体育大会等の行事・懇談）を設けている。
⑪学校は学力向上（習熟度別授業、研究授業参観、学習会等）についての取組を行っている。
⑫通知表は子どもの学力や達成度がわかるように工夫されている。
⑬子どもは楽しい、もしくはわかりやすい授業があると言っている。
※設問10はR5では未実施

(保護者用:昨年度との比較のグラフ)



今年度は⑩「教育目標や教育活動を知らせる機会を設けている」の項目を追加しました。今年度2回実施した「オープンスクール」や「体育大会」においてもより身近にお子さまの頑張っている様子を観ていただけるよう取り組んで参りました。各行事のお知らせ等を早い段階でお伝えし、ご来校しやすい取り組みとなるよう努めてまいります。

アンケートの全体としては全項目において昨年度の結果を上回りました。②「いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」、③「子どもの間違っただ行動を適切に指導している」は80%後半が肯定的な回答となりました。日々のお子さまの不安やトラブルに関しては、日頃の学校生活の観察を始め、「デイケン」システムの活用や学期ごとの「生活アンケート」で情報を収集し、お子さまに対しても「いじめ防止授業」の学習を通して、正しい見方や捉え方ができるように取り組んでいます。また、教職員の対応についても、吹田市や校内の研修を通じて、新しい知識やより適切な対応が実践できるよう努めていきます。今後ともより一層、早期に対応し解決につなげてまいります。

⑨「教育活動を知らせる機会を設けている」の項目も肯定的な回答が90%以上となりました。毎月発行している「学校だより」や日々更新している「学校ブログ」を中心に、各学年でも「学年だより」等を通じて、保護者の皆様や地域の方々に本校での取り組みや様子を知っていただける大事なツールとして作成してきました。学校として今年度の内容を振り返り、より伝わりやすい内容をなるよう工夫・改善を図ってまいります。各種の行事でご来校の際や懇談等でお声をいただければ幸いです。

また、⑫や⑬においては、昨年度より改善されているが肯定的な回答の割合が80%を下回っています。⑬「楽しい、もしくはわかりやすい授業があると言っている」に関しては、生徒アンケートの結果と差異はあるが、お子さまが「楽しく学校で学べる」よう、全体または教科間で指導方法等を共有し、一つひとつの授業で「わかった」と感じられるように改善してまいります。

今回の「学校教育自己診断アンケート」の結果については生徒用・保護者様用の両方で一定の改善が見込まれたと感じています。ただ、今回の結果は一つの貴重な声として受け止め、授業力の向上や生徒への対応、より開かれた学校となるような機会の確保やお手紙やブログ等での情報配信に今後も努めてまいります。また、次年度もお子さまのより良い学校生活となるよう、教職員一同取り組んでまいります。これからも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。